

☆作業日あれこれ

9月になっても例年にない残暑の厳しさのせい、第2土曜日の参加者は少なめの30人ほどでした。観察会の最初のテーマはマミシについて。担当のブンちゃん、遊林会の初期の頃、活動中に森女史が石を投げて気絶させ、それを蛇掴み名人が捕獲したという、今の若いスタッフには伝説のような話になっている。昔はみんな虫取り少年時の写真を持ち出し、



昔はみんな虫取り少年

「そのうち死んでしまったので、その場で皮をはいで蒲焼きにして食べたそうです」と、とんでもないエピソードを紹介しします。いや、事実なんですけど…。ところで秋口にマミシに噛まれやすいという話ですが、「子は母蛇の口から出てくるので母蛇は子を産む時、毒牙が邪魔にならないよう人間にかみついて牙を抜くから」との答えがあり、それは聞いたことがあるぞと多くの方がうなずいていました。そこでブンちゃんが我が意を得たりと解説です。マミシはお腹の中で卵から子をかえす卵胎生という産み方をします。だからいきなり子蛇が産まれるのですが、おしりから産まれるのです。ではなぜ秋によく噛むと言われるのか…マミシは夜行性の変温動物ですが、マスのマミシは子を産む前に身体を暖めるためか日中でも活動することがあり、そのマミシに人が遭遇するからではないでしょうか、とのことでした。蛇に出会えばギョッとしますが、この森では昔からいる生き物の一員、むやみに退治しません。次に話題は一転、草原広場で網と虫かごを持ち童心に返ってバツつかみです。そして捕獲したバツたちを解説、バツと付ゴの仲間の見分け方などを教わり、みんな眼を皿にして見ていましたが、どこからともなく「食える付ゴはどれや？」という声が複数あがり、付ゴを食べたことのないブンちゃんは思わず苦笑でした。

この日の作業は、ナラ枯れ対策で伐採した木を玉切りし薪割機で割る作業が主力でした。チェーンソーで木を40cmに玉切り、薪割機で割ります。例年と違い今年は屋根のない屋外に野積みです。これはカシナガキムシの幼虫をアリが連れ去るの

を確認した（詳細は裏面）のでアリがいる屋外に置くためです。観察すると本当にすぐアリがやって来て、次々に幼虫を巣に運び出していきます。ちなみにアリが運ぶ様子は9/2の木まくりで初確認したのですが、その日ナラ枯れで枯れたアラカシを伐採し、薪に割って地面に放置すると5分も経たずアリがやってきて幼虫を運び始めました。後日スタッフがその薪を細かく割り幼虫が残



ナラ枯れ救世主！頑張れ！

っているか確認した所、1匹も確認できなかったそうです。そこで、その日伐った同じアラカシでまだ丸太のままの材の中に幼虫が何匹いるか数えたら、何と直径15cm 長さ35cmの丸太の中に1,500匹！つまり薪にして置いておくとアリが一昼夜で1,500匹運んだということです。話は脱線しますが、先月号で触れた「神社に生えているカシやシの木もいずれナラ枯れにやられるのでは」との懸念は現実のものとなってしまう、この地域で立派な社叢林を持つ押立神社で確認すると、既に今年ナラ枯れで枯れたアラカシがあり、シは枯れてこそいないがカシガの開けた穴がポツポツとあいていました。皆さんも地域の神社を一度のぞいてみてください。

再び作業に戻ると、草原広場の隅では薪にならなかった細い枝をチップ処理、その近くの交流広場周辺では草の機械刈りをしています。駐車場の近くの竹林では青年部長が、何とか人を集めて竹林整理を汗だくでやっています。

この日のお昼は、カが大好きな焼き豆腐の煮付け、冬瓜、オクラ、シシトウなど夏野菜満載の料理でした。御飯は釜で炊いた炊き込み御飯でしたが、新人がいたくこれを気に入って隣の隣でこれを肴に飲んでおりました。9月からは午後でも作業の予定でしたが、あまりの暑さのせいで午後の作業は中止、トラの咆哮が作業小屋に響いておりました。ちょうどこの時、台湾からこの森を視察しに来られた方があり、案内していたマルはトラたちの様子を見せて、あれが遊林会が長く活動できている原動力のひとつですと紹介し、台湾のお客さんもウウウと納得されていたとか…。

10月27日(水曜日)週日活动 森の居酒屋は10月6日 午後7時頃～

10月9日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先: 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210 当日連絡先: 携帯(丸橋)090-3352-3163

Eメールでも、ご意見をお待ちしています。E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

これはkikitoペーパーを使っており、滋賀県湖東地域の森の保全に寄与しています。

本日で残暑も終わり、と予報のあった第4水曜日ですがスタート時まだまだ残暑厳しく、メンバーもベテラン組14人のみでした。本日はひたすら薪割り。今年ナラ枯れで枯れた木（以下、ナラ枯木）の薪割りです。昔と違って木がかなり太いので、刃ではなく薪割り機に頼っての作業ですが、それでも一抱えの丸太を運ぶのにはひと苦労です。9月第2土曜の作業日以来、ナラ枯木の薪は細かく割って井桁積みにし、中に入っているカシガの幼虫をアリに食べてもらう作戦をとっているのです。割ったあときれいに積むのも手間がかかります。それでもベテラン揃い、どんどん薪割りを消化していきました。この日のお昼は珍しく煮込みハンバーグが登場し、他にも冬瓜の炊いたの、トウモロコシ、切り干し大根などどれもおいしいものばかりでした。この日の夜は、中秋の名月と虫の音を楽しむ子ども向けイベントを企画しており、定員一杯のご予約もいただいていたのですが、夜から天気が崩れることがほぼ確実視されており、雨降らずとも厚い雲かかれれば月見もできぬと昼過ぎに中止を決定しました。この内容では初めてのイベントだっただけに、残念です。

☆9月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。9月は3回の活動を行いました。

9/2 11人 林冠トレイル周辺のナラ枯木3本を伐採。3本ともアラカンでした。

9/16 7人 森林組合が危険木を伐採してくれた際に出たナラ枯れの丸太を機械により薪割り。

9/30 通信発行に間に合わず。予定では薪割り。
10月は14日、21日が活動日です。

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

9月は学校の運動会のため森の利用が少なく、下旬までのわずかな期間、スタッフはようやく夏休みをとれます。今回一番夏休みを満喫したのはパリに行ったパンちゃんです。しかしわずかな充電期間もあっという間に過ぎ、下旬からはいよいよ学校や団体利用のピークに突入します。これから12月中旬まで、スタッフは息つく暇もありませんがたくさんの子どもたちに森を楽しんでもらえるようがんばります！

☆アリによるナラ枯れ対策

8月頃、ナラ枯れについてネットで調べていると、あるサイトに「アリ類による食餌行動による駆除」という一文がありました。アリがカシガの幼虫を食べてくれるの？…ということで、早速先日切ったナラ枯木を薪に割ってその辺に置いておく…何とすぐにアリがやってきたではありませんか！その後も何度か実験しましたが、カシガが開けた穴に入れる大きさのアリたちはことごとく幼虫を連れ去っていき、その様子は「かわべえ

フォトログ」の9/2や9/16の記事で紹介しました。アリの専門の方に聞いた所、ハリブツリアゲアリとトビイロツアリではないか、ということです。昨年まで、ナラ枯木を伐採する時期は、健全な木を萌芽更新（伐採した切り株から出るひこばえを育て新しく若い林を作る方法）させる目的で伐採する時期と同じ晩秋～冬でした。落葉樹が休眠するこの時期の方が萌芽しやすいというだけでなく、藪に入ってもアヒがおらず、周りの草も枯れて伐倒後の作業も容易だからです。しかしナラ枯木を伐採して薪にしても、中にはカシガの幼虫がいます。薪にするほど細く割れば幼虫の餌となるナラ菌の繁殖も限られるのでたぶん幼虫は死ぬと思うのですが、それでも成虫になって次の夏に出ていく可能性は否定できませんでした。薪は少なくとも一夏乾燥させる必要があります、カシガの成虫が脱出するリスクがありました。しかし今回アリが食べることがわかったので、来年からナラ枯木の処理法を変えてみます。つまりナラ枯れで木が枯れ出す（大体7～8月）のを発見したら、冬まで待たずアリが活動している季節のうちにできるだけ早く切って、薪にし、屋外に野積みしておくのです。厳密に調査したわけではありませんが、今のところこの方法でほとんどの幼虫をアリが連れ去っているようです。

この方法にはもうひとつ狙いがあります。一般的に萌芽更新させるためには、木が休眠する冬の伐採が常識で、元気な木を夏に伐ってもひこばえが出にくい、出ても周りの草などに被圧されてうまく育たないということがありました。しかも冬に伐採したナラ枯木は、すっかり枯れているためひこばえを出す可能性はほぼ0です。それならいっそ、枯れた直後でまだ切り株に水分や養分が残っている時期に伐採すれば、放っておけば死ぬはずの切り株からもしかしたらひこばえが出ないだろうか、という考えです。もし出ても、上述のようにその後育てるのは容易ではありません。しかし10本のうち1本でも残れば…との思いがあり、来夏から一度この方法を試してみようと思います。

☆10月の作業日は

10月もナラ枯れ対策の作業が中心となりそうです。しかしそろそろセイタカアワダチソウなどの抜き取りも必要です。涼しくなりましたので、久しぶり！という方もぜひおこしください。

☆11月の第4水曜日は日程変更

遊林会 HP にも掲載している「遊林会活動カレンダー」にも書いている通り、11月の第4水曜日は祝日の翌日で休館日のため、作業は11月23日（火/祝）に変更します。お間違えなく！

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！